

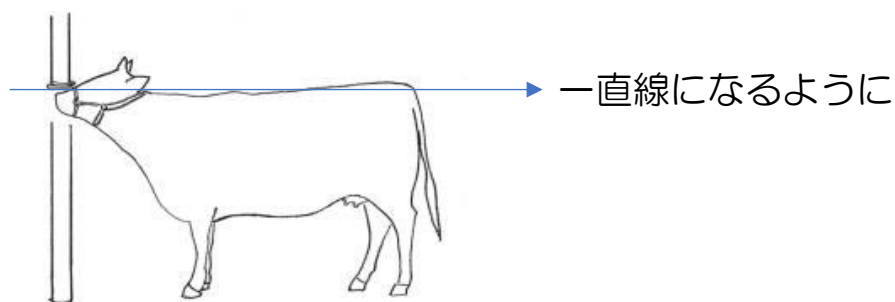
子牛の出荷の準備について



農政部経営技術課技術指導班

1 つなぎ運動で美しい立ち姿を

つなぎ運動は平坦な場所で、目の高さで背中が水平になるように、繫留棒や柱に鼻を密着させ、きつく結びつけます。後脚に過重がかかり、尻が左右に振れない程度まで、顔を上げます。



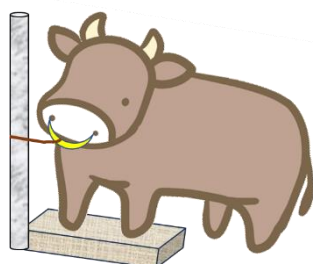
★効果

- ①背線を強くし姿勢を整えます。
- ②誘導に馴れ、落ち着きのある立ち姿の美しい牛になります。

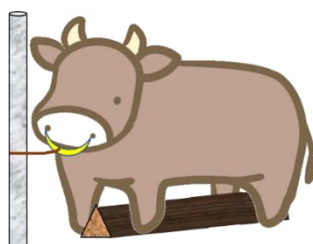
★時期・時間

出荷の2ヶ月前から開始。食後、牛が落ち着いてから行います。最初は10分、徐々に時間を延ばして出荷前には2時間程度の立ち姿勢を保つようにします。夏期は直射日光を避け、朝夕の涼しい時に行いましょう。

【参考として】



畳などを敷いて前肢を高くするとより運動量が増し、モモが張ってきます



牛が足を開いて立てないときは足の間に三角形の木材等を置いてつなぎ運動をしっかりと立てるようになります

2 削蹄は出荷1ヶ月前

体重を支える足のツメが長かったり、変形していると体重の支え方や歩き方に悪影響を及ぼし、体形も崩れます。



★注意

出荷直前の削蹄は、セリ場での歩行を崩す恐れがあります。

3 毛刈りとブラッシング

背線や顔の輪郭が鮮明に見えるよう、毛刈りにより毛並みを整えましょう。

繋ぎ運動とあわせてブラッシングを行うことで、人に馴れて、どの部分を触ってもいやがらない、落ち着いた子牛となり誘導がしやすくなります。



4 出荷前のチェック

市場出荷の際は子牛をよく観察しましょう。

★鼻紋・耳標

- ①子牛登記証と照合し間違いが無いか確かめましょう。
- ②10桁の耳標も両耳にしっかり着いているか確認しましょう。

★健康状態

- ①食欲不振、せきや発熱、ガス腹など無いか確認しましょう。
- ②異常がある場合は獣医師等に相談しましょう。

★体表面の異常

- ①外傷、皮膚病、去勢の状況などもチェックしましょう。

7月～8月は「農作業中の熱中症による死亡事故」が集中します。



高齢農業者の事故が多発しています！以下のことを心がけましょう。

- ・こまめな休息、水分補給を行いましょう。
- ・日中の気温の高い時間帯の作業は控えましょう。
- ・単独作業を避け、一人での作業の場合は携帯電話を持ちましょう。